

授業科目	基礎看護方法2	1 学年・後期・2 単位 (60 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	宇野智子 (保健医療学研究棟 E204 号) e-mail : tuno@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	堀口雅美、中村 円、飯澤良祐、(佐藤美智子)		
概要	本科目では、基礎看護方法1に引き続き、看護場面に共通の基本となる技術(感染予防、看護情報管理)と、対象者の日常生活を整える看護技術(活動と休息、清潔、酸素化、栄養と食事、排泄、温熱寒冷適用)を科学的根拠に基づき学習する。これらの学習がより深まるように、講義、グループワーク、技術演習、個人による事前事後の課題学習を組み合わせながら学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践の基本となる技術である感染予防や看護情報の管理について説明できる。 2. 人間にとっての活動と休息の意義を理解し、健康な生活を送るために必要な活動と休息に関する看護方法が説明できる。 3. 人間にとっての清潔の意義を理解し、個人の清潔習慣などを把握した上で健康な生活を送るために必要な看護方法が説明できる。 4. 人間にとっての栄養と食事の意義を理解し、個人の栄養状態や食習慣を把握した上で健康な食生活を維持、促進するための看護方法が説明できる。 5. 人間にとっての排泄の意義を理解し、個人の排泄習慣を把握した上で健康な生活を送るために必要な看護方法が説明できる。 6. 温熱適用や寒冷適用による心身への影響や効果を理解した上で、対象者に必要な看護方法について説明できる。 7. 人間にとっての酸素化の意義を理解した上で、酸素化が阻害されている対象者に対する看護方法について説明できる。 8. 感染予防、活動と休息、清潔、栄養と食事、排泄、酸素化、温熱寒冷適用に関する基本的な看護技術が実施できる。 		
関連科目	基礎看護方法1・3・4、看護学概論、ヘルスアセスメント1、解剖学、生理学、基礎看護実習1		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物は、提出状況及び内容の目標到達状況により6割以上を合格とする。 ・筆記試験は、定期試験の解答状況により6割以上を合格とする。 ・実技試験は、実技試験採点表に基づき6割以上を合格とする。 以上、提出物、筆記試験、実技試験の3項目のすべての合格により単位は認定される。
	筆記試験	60%	
	実技試験	20%	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> ①深井喜代子編 [2021 年] 「新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ」 メヂカルフレンド社 ②深井喜代子編 [2021 年] 「新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ」 メヂカルフレンド社 ③稲葉佳江編他 [2011 年] 「看護ヘルスアセスメント」 メヂカルフレンド社 ④菱沼典子著 [2017 年] 「看護 形態機能学 第4版 生活行動からみるからだ」 日本看護協会出版会 ⑤香川明夫監修 [2022 年] 「八訂食品成分表」 女子栄養大学出版社 		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	授業日程および演習要項を別途配付する。学習要項・演習要項をよく確認し、不備のないよう注意すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	本科目の目的・目標、学習内容・方法等ガイダンス 栄養と食事の看護①：人間の生活における栄養と食事の意義、 栄養と食事における看護の役割など	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	宇野
2	栄養と食事の看護②：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃

3	栄養と食事の看護③：紙上事例のアセスメント	事前：教科書の該当箇所を読む、学習課題 事後：学習課題	講義・グループ学習	〃
4	栄養と食事の看護④(技術演習)：食事の援助	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)
5	活動と休息の看護①：人間にとっての活動と休息の意義、活動と休息における看護の役割など	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	宇野
6	活動と休息の看護②：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
7	活動と休息の看護③：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
8	感染予防の基礎Ⅱ①：人間にとっての感染とは、看護における感染予防、感染に関わる危険因子、無菌法の概念など	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	中村
9	感染予防の基礎Ⅱ②：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
10	感染予防の基礎Ⅱ③(技術演習)：個人防護具と滅菌グローブの着脱、基本的な無菌操作	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)
11	排泄の看護①：人間にとっての排泄の意義、排泄行動に援助が必要な人への心身への影響因子、排泄に関するアセスメントなど	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	宇野
12	排泄の看護②：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
13	排泄の看護③(技術演習)：排泄用具の扱い方、グリセリン浣腸	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)
14	排泄の看護④(技術演習)：排泄用具の扱い方、グリセリン浣腸	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
15	排泄の看護⑤(技術演習)：一時的導尿	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
16	排泄の看護⑥(技術演習)：一時的導尿	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
17	清潔の看護①：人間にとっての身体の清潔の意義、身体の清潔を保つことの看護の役割など	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	中村
18	清潔の看護②：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
19	清潔の看護③：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
20	清潔の看護④(技術演習)：ベッドバス	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)
21	清潔の看護⑤(技術演習)：ベッドバス	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
22	清潔の看護⑥(技術演習)：イブニングケア(口腔ケア・足浴)	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
23	清潔の看護⑦(技術演習)：シャンプー	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃

24	清潔の看護⑦(技術演習)：シャンプー	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
25	酸素化の看護Ⅱ①：酸素化に関するアセスメント、酸素化が阻害された対象者への看護援助(酸素吸入療法、一時的吸引法)	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	中村
26	酸素化の看護Ⅱ②(技術演習)：酸素吸入療法、一時的吸引法(経鼻・経口)	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)
27	温熱寒冷適用に関する看護①：温熱適用、寒冷適用の身体への影響、電法の種類と適応、電法に関する看護援助など	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	飯澤
28	温熱寒冷適用に関する看護②(技術演習)：温電法、冷電法	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤
29	看護における情報管理①：情報とは何か、看護における情報の特徴、看護情報の取り扱いに関する倫理的側面など	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	堀口
30	看護における情報管理②：〃	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃